

令和4年度 地域おこし協力隊 事業報告書

美作市役所企画情報課

令和5年3月31日

目次

4 年目の隊員(3 名)

- ・ 赤坂 晃靖（上山地区自治振興協議会） 1



- ・ 蟻正 敏雅（上山地区自治振興協議会） 9



- ・ 中島 純一（美作市役所都市住宅課） 13



3 年目の隊員(3 名)

- ・ 上伊倉 紀美（勝田観光振興会） 24



- ・宇都宮 健二（右手養魚センター） 29



- ・米山 吉将（東栗倉地域自治振興協議会） 33



2 年目の隊員(2 名)

- ・濱田 恭徳（美作市役所森林政策課・地美恵の郷みまさか） 39



- ・峯平 晃太（湯郷自治振興協議会・湯郷温泉旅館協同組合） 44



1 年目の隊員(8 名)

- ・熊丸 博樹（上山地区自治振興協議会） 49



- ・種岡 博之（東栗倉地区自治振興協議会） 54



- ・長岡 邦彦（東栗倉地区自治振興協議会） 54



- ・竹林 照夫（あの日のおもちゃ箱 昭和館） 57



- ・細野 照潤（大原観光協会） 59



- ・山根 悠督（湯郷温泉てつどう模型館&レトロおもちゃ館） 70



- ・藤丸 蒼（美作市役所社会教育課） 83



- ・長岡 一幸（美作市役所作東総合支所） 88



令和4年度 活動報告

上山地区 赤坂晃靖

▼目次▼

I. 棚田のこと

II. 狩猟(有害駆除) のこと

III. 4年間を通しての所感

I . 棚田のこと ①

▼田起こし



▼代かき



I . 棚田のこと ②

▼田植え



▼生育中



I . 棚田のこと ③

▼稲刈り・ハゼ干し



I . 棚田のこと ④

▼一年を振り返って

- 4度目の田んぼでの米作り。新たなエリアを担当して、一枚一枚の田んぼごとの水の出入り口を確認する作業からのスタートでした。同じ米作りでも田んぼごとに勝手が全然違うことを改めて思い知りました。
- 今年も獣に出入りされて、悔しい思いをしました。隣接している地域の方が耕作されている土地にも獣に入られてしまっていたので、獣害について地域の方と報告しあう機会も多かったです。

Ⅱ．狩猟のこと ①

有害駆除活動（罾猟＋巻き狩り）に参加。
また、猟期(11月15日以降)は、鳥猟も行う。

Ⅱ．狩猟のこと ②

▼捕獲



Ⅱ．狩猟のこと ③

▼猪の皮剥ぎ



▼鹿のモモ



Ⅱ．狩猟のこと ④

▼自家消費



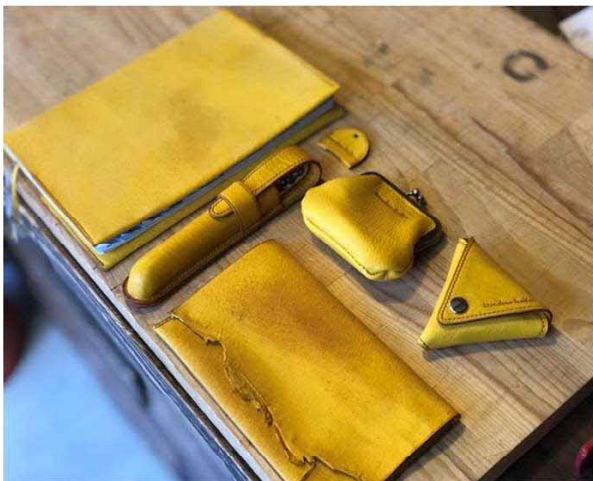
Ⅱ．狩猟のこと ⑤

▼有害駆除



Ⅱ．狩猟のこと ⑥

▼鹿革小物と鹿角文房具



Ⅱ．狩猟のこと ⑦

▼一年を振り返って

- 有害駆除二年目。4月には市内の猟隊の巻き狩りに参加。5月から9月の間は駆除活動は行わなかったのですが、10月から再開。罠による駆除に従事。
- 巻き狩りについて。猟銃を扱える狩猟者が複数人集まって行う猟法なので、今後、銃猟を行う人の減少や、高齢狩猟者の引退などで出来なくなる地域は多いのではないかと思われる。巻き狩りという猟法を残すためにも、地域の山を知る経験豊富な方から巻き狩りの技術を継承していきたいと考えています。

Ⅱ．狩猟のこと ⑧

▼一年を振り返って

- 罠猟は免許取得から5年。実際に行って4年目、駆除は2年目となりました。猟具の扱い方から、捕獲した際の処理、自家消費にいたるまで各工程で上達を感じる部分もありますが、上手くいかないことも多々あって、狩猟の難しさを感じています。
- 駆除した鹿・猪の毛皮や角の利用についても行いました。毛皮のなめしや革・角の加工については委託をしましたが、今後は自分たちで加工することも検討しています。

Ⅲ.4年間を通しての所感

- 棚田のある地域に暮らすことの面白さ、また大変さを知る4年間でした。日々移り変わっていく棚田、山の変化を意識しながらの暮らしは、天気や気温に左右されながらで思うように行かないことも多かったです。しかし、「うぐいすが鳴き始めた」とか「山が紅葉し始めた」などと季節を感じながらの暮らしがありました。
- 罾猟から始めて、銃猟を実際に取り組むまでのステップアップが出来ました。この4年間の経験を活かして今後も狩猟・有害駆除活動を行っていきたいと考えています。

Ⅲ.4年間を通しての所感

- 4年間の狩猟経験を活かして、狩猟やジビエに興味を持つ方や、これから狩猟をやってみたいと考える方向けに狩猟の体験が出来る場を作っていきたいと考えています。また今年度取り組みを始めた毛皮や角などの利用も拡充して、物品の販売等も検討しています。
- 世界的に様々なニュースがある激動の4年間でしたが、その中で、棚田・狩猟に出会い、実際に活動を行っていく中で多くの学びがありました。4年間、ありがとうございました。

地域おこし協力隊の 期間中に感じたこと、 そしてこれから。

蟻正敏雅（上山地区）

自然の中で見
つけた
あたりまえ
の再定義



暮らしの全て
が土からでき
ているという
こと



人間が優位で
はないという
こと



便利という買
い物で失っ
ているもの
があるとい
うこと



主な活動実績

- ・ 藍の栽培 → 染めWS、藍香茶（藍の商品化）
- ・ 貸し農園の管理組合長 → 空き物件、空き地の契約増
- ・ 耕作放棄地の再生 → およそ1ヘクタールほど
- ・ 古民家解体・再生 → 5軒
- ・ 会社設立 → 株式会社につわるエトセトラ
- ・ 一般社団法人と或る農園
- ・ 自然体験イベント30回以上企画・運営
- ・ 消防団長(R5)、地区評議員、部落長、
- ・ etc...

これからも、
これまで同様に
頑張って生きて
いくのみです～



美作市地域おこし協力隊 令和4年度事業報告

都市住宅課「美しい里山公園」担当
中島 純一

着任（2019年4月）から4年間での変化

ハード面

- 新規園路開通
- 広場整備
- 道標看板設置
- 朽木駐車場トイレ整備

ソフト面

- 公式HP開設
- 公式パンフレット発行
- 公式YouTubeチャンネル開設
- 各種イベント開催
- 旅行情報サイト記事掲載
- 登山アプリ口コミ多数掲載

やったこと

公園整備に関すること

- 新規園路開通
 - 檜原－平福園路
 - 四ノ谷－北原園路
 - 木田谷園路
- 広場2箇所整備
 - 朽木藤乃森広場
 - 塩野尾山山頂広場
- 道標看板設置
- 朽木駐車場トイレ設置



朽木藤乃森広場



塩野尾山山頂広場

公園管理に関すること

- 日常のパトロール・管理
 - 車両、徒歩、ドローンによるパトロール
 - 園路上の落石撤去や倒木の処理
 - トイレ管理
- 園路・景観維持のための軽作業
 - 園路の轍や雨水侵食箇所の補修
 - 枯死木（特に松くい虫被害を受けたアカマツ）の伐採
 - 落葉清掃・側溝清掃
- 監視カメラによる入園者数集計
 - 協力隊着任前の2018年12月と2022年11月を比較し、入園者数が約3倍に
 - 最近は登山記録共有アプリへの投稿をきっかけに、入園者が急増



車両によるパトロール

公園広報に関すること（紙媒体）

- 美しい里山公園公式パンフレット作製



外身



中身

公園広報に関すること（紙媒体）

- ・広報みまさか令和2年8月号
里山公園特集 掲載



公園広報に関すること（紙媒体）

- ・市内在住絵本作家さんと共同で「ミウラ折り」マップ作成



※「ミウラ折り」とは、航空宇宙工学者の三浦公亮氏が考案した特殊な折り方で、大きなサイズのマップをコンパクトに折り畳むことができるうえ、瞬時に展開・収納ができる



ミウラ折り公式サイト:: 株式会社井上総合印刷 - ミウラ折りとは
<https://miuraori.biz/about/>

歩ん助（ぽんすけ）くんによるコースの紹介を交えたマップ（A1サイズ）

公園広報に関すること（Web媒体）

・美しい里山公園公式HP作成

- GPS登山アプリを活用して作成した園路高低図により、任意のコースごとに所要時間・水平距離の計算、コースの陰しきの把握を可能に
- Google マイマップ の活用によりおすすめコースを紹介



公園広報に関すること（Web媒体）

- 岡山県観光連盟運営サイト「岡山観光WEB」に公園紹介記事掲載



基本情報	
住所	〒707-0025 岡山県美作市栄町（栄町出入口）
電話番号	0868-72-1111（美作市役所都市住宅課）
公式サイト	美しい里山公園 公式サイト YAMAPで口コミを見る
料金	無料
交通アクセス(車)	中国自動車道美作ICから約5分（栄町出入口まで）
交通アクセス(公共)	JR林野駅より徒歩約5分（栄町出入口まで）
駐車場	無料駐車場あり

※営業時間や定休日、料金など変更されている場合がありますので、お出かけの際は問い合わせ先にご確認ください。

公園広報に関すること（Web媒体）

- 登山記録共有サービス「ヤマレコ」「YAMAP」への山行記録投稿による、登山者へのアピール
→他の登山者に認知され、口コミが投稿されるように



公園広報に関すること（Web媒体）

- YouTubeチャンネル開設
 - イメージ動画
 - 解説動画
 - 園路タイムラプス動画
 - 藤乃森広場紹介動画
 - 塩野尾山広場紹介動画
 - 湯郷温泉と紐づけた観光プロモーション動画



湯郷温泉と紐づけた観光プロモーション動画



- 「観光案内所→温泉街および周辺の名所巡り→製材所で箸作り→里山公園でトレッキング、アクティビティ体験、お弁当」の流れをサイクリングでつなぐ構成

公園広報に関すること（みまちゃんネル）

- みまちゃんネル出演
 - みまさか情報局
 - 季節の動植物、風景等紹介
 - 各種イベント情報告知
 - 初日の出写真&ドローン空撮映像提供
 - あなたの出演です
 - 視聴者からの写真提供コーナー
 - それゆけみまちゃんネル
 - 「生き物探訪@里山公園」シリーズ



モリアオガエル



ミツバツツジ



令和3年初日の出



塩野尾山展望スポット

里山公園での各種イベント

- 社会教育課と協働し、各種イベント開催
 - 「共生の森」切り絵展開催
 - 毎年夏の小学生向けイベント「夏休みキッズチャレンジ」
 - 里山公園自然観察会&史跡見学会（社会教育課協力隊員とのコラボ）
 - 里山ネイチャーゲーム体験会里山
 - ツリーイング体験会（中止）
 - 生涯学習講座「スラックライン/モルック体験会」



切り絵展の里山公園会場



里山公園自然観察会



藤乃森広場でのモルック体験

里山公園での各種イベント

- 市内小学校・幼稚園の遠足対応
- 市内ボランティア団体と協働し「美作市の季節を巡る無料バスツアー 里山公園トレッキング」実施
- 森林政策課と協働し、「自然とふれあうみどりの月間 美しい里山の集い」実施



お箸作り体験



スラックライン体験



ぶっくる号&工作体験

里山公園での各種イベント

- 営業課と協働し、婚活イベント「アウトドア de うきうきカップリングパーティ」、
「ネイチャーゲームdeときめきオータムパーティ」実施



森の中の広場を会場にしたカップリングパーティー

会場までのトレッキング体験に加え、スラックライン、モルック、
ネイチャーゲームなどのアクティビティも盛り込んだ

※ネイチャーゲーム回は雨天のため、屋内でのネイチャーゲーム &
モルック体験にプログラム変更

- 市内製材会社、IT 企業と協働し、「SDGs サイクリング&トレッキング in みまさか」実施



湯郷観光案内所をスタート地点とし、市内各所のSDGs
ポイントを巡る

途中で里山公園に立ち寄り、トレッキングとスラックラ
イン、モルック体験を行なった

各ポイントで集めた木の札を使って扇子を作り、記念品
として持ち帰って頂いた



各種資格取得

- 刈払機・チェーンソーの安全衛生教育・特別教育
→公園内の植生管理に活用
- 自然観察指導員、ネイチャーゲームリーダー
→各種イベントでの自然解説、ネイチャーゲーム婚活イベントに活用
- ドローン操縦技能者（全日本ドローン教習所協会）
→里山公園PR映像制作、定住促進住宅紹介映像制作等に活用
- ブッシュクラフトアドバイザー
→2020パラリンピック採火式、焚き火婚活イベントに活用
- ツリーイングインストラクター（取得途中）
- ロープ高所作業（樹上）特別教育
→公園での木登りイベント（荒天中止）、公園内の樹木管理に活用



ドローン講習風景



ブッシュクラフトによる焚き火



藤乃森広場でのツリーイング

ブッシュクラフトアドバイザー資格を活かした里山公園外での活動

- ベルピール自然公園にて、スポーツ振興課からの依頼で「東京 2020 パラリンピック競技大会採火式」企画協力、火おこし指導
 - 複数班に分かれてまいぎり式火おこし器、メタルマッチによる火おこしを行い、ひとつのたき火台に集約して採火



ベルピール自然公園



聖火と共に記念撮影

ブッシュクラフトアドバイザー資格を活かした里山公園外での活動

- 大芦高原キャンプ場にて、営業課からの依頼で婚活イベント「たき火を囲んで♪オータムカップリングパーティ」企画、焚き火指導
 - 定員を上回る応募があり、市主催の婚活イベントとしては例年になく人気
 - コロナ禍におけるアウトドア婚活イベントの集客力・有効性を示唆



シェルター（タープ）1基とイス2脚のセットを1つのブースとし、協力して作った焚き火を囲んで交流を行うプログラムとした。

その他の活動

- 吉野川護岸アートの清掃、塗り替え
 - 市職員有志、地元民、JCらとの協働
- 市内各所での「モルック」の指導
 - さくとう山の学校
 - B&G あいだ こども第3の居場所
 - 美作市適応指導教室「美作塾」
 - 障害者地域活動支援センター「なごみ」
 - 地域サロン「金原・稲穂・則平健康広場」
 - 東栗倉小学校閉校記念イベント「今昔こぶしっ子フェスティバル」 等



吉野川護岸アート



地区サロンでのモルック体験会

協力隊任期終了後について

- 帰郷し、地元市の職員として勤務予定
- 美作市へは車で1時間程度のため、今後も里山公園での活動を通して、美作市、そして美作市でお世話になった方々との交流は続けていきたい



- 「関係人口」としての定着

令和4年度

活動報告書

美作市地域おこし協力隊
(勝田観光振興会)



上伊倉 紀美

私のMission

勝田地域の観光振興

勝田観光振興会事務局 () 内は令4の主な実績

- 会計・計理事務 (予算編成・執行)
- イベント企画・実施 (久賀の桜まつり、
勝田ひまわり市場など)
- 観光拠点開発整備 (ハーブガーデンミニのオープン、
ハーブカードの作成)

地域の魅力発見・発信

- 見過ごされ、不用と思われるモノの活用
(ススキ・背高泡立ち草・熊笹などの活用)
- 特産品の活用 (そば粉、クレソンの利用)



主なイベントの企画・実施①

事業内容	実施時期	備考
久賀の桜まつり（会場整備含む）	令和4年4月9日	共催
あまご釣り大会	令和4年4月10日	共催
第2回勝田ひまわり市場	令和4年7月10月	主催 市後援
アマゴのつかみどり	令和4年8月13日	主催 市観光振興協議会後援
第4回木地師まつり	令和4年10月10日	共催 市後援
さをり織り展	令和4年11月14日-	協賛
販売促進事業	令和3年10月23日	協賛 水都大阪・森林の市

主なイベントの企画・実施②

事業内容	実施時期	備考
ハーブガーデンミニ オープン	令和4年11月3日	主催 市後援
勝田ひまわり市場	令和4年11月23日	主催 市後援
講演会	令和4年12月14日	主催 「美作市と観光事業」
（以下、定期的事業）		
ワンコイン・カフェの参加	10月28日、11月24日	梶並社協・勝田社協 協賛
観光振興会定例理事会	毎月第2火曜日	月例会

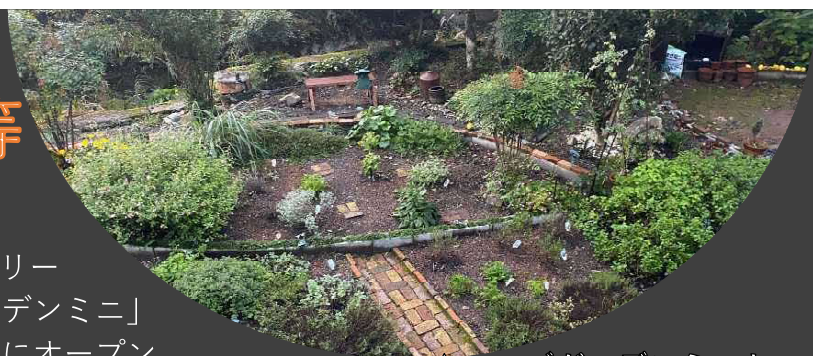
観光拠点開発整備等

- ・ハーブガーデン整備＝東谷下にギャラリー
山村茶屋の庭を「ハーブガーデンミニ」
として、令和4年11月3日にオープン
(約30種40株のハーブを育成)

⇒ オープンガーデンとして地域に開放

- ・ハーブコーディネーター資格(令和3年5月取得)
を生かし、ハーブの活用方法を普及する。

⇒ ハーブを生活に取り入れるための普及
ハーブカードの作成



▲ハーブガーデンミニと

▽パンフレット



見過ごされ、不用と
思われているモノ

特産品の活用

- ススキの活用＝黒竹の柄をつけて箒にする。
ワークショップの開催
- 背高泡立ち草＝利尿・抗菌効果を利用して、入浴
剤・抗菌スプレー、ケーキ・お茶の試作
- 熊笹＝熊笹の解毒咳止め、抗菌効果を利用して、
熊笹茶の試作
- そば粉、クレソン＝そば粉クッキー、クレソンパウダー

その他の活動

地域との交流を深め、ハーブの普及を図ることを目的に

令和4年7月3日から31日

「KIMYの心象」展を開催 来場者：300人

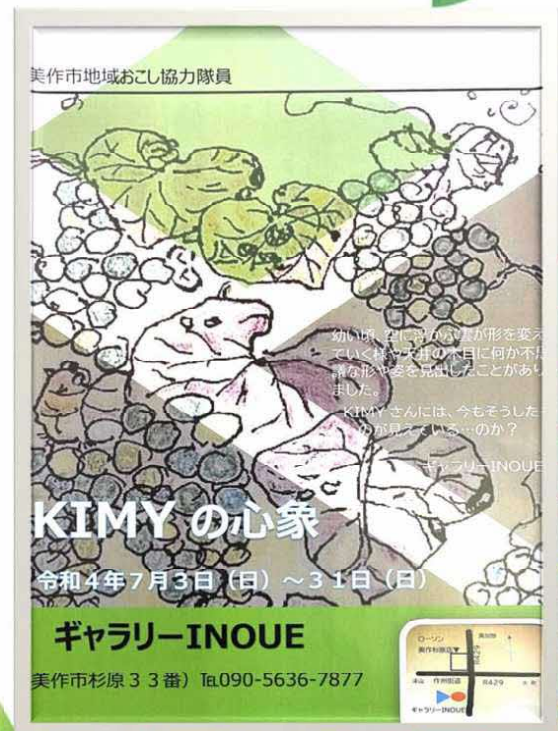
※風景、静物画を私の心象で捉えて描いた作品など
40点を展示

この場を利用して、ハーブやハーブを使った製品を紹介し、普及に努めた。



▲ハーブを使ったフィナンシェ(焼き菓子)

▼「KIMYの心象」展のチラシ



今後の展開

- ハーブガーデンミニの活用⇒Herb-bal (r) (ハーブを活用したバル) の開設
- ハーブに関する知識の普及⇒ハーブガーデンミニでの普及イベント開催、ハーブカードの更新
- 新たな知識の習得⇒「薬草ガーデン講座」の受講
- 不要物？を使った試作品（ススキ、セイタカアワダチソウ）の製品化
⇒岡山さとまちフェスタ、津山まいもん市などでのモニター販売
- 地域特産品（そば粉の活用、クレソン栽培）
⇒そば粉パン、クレソンウダーなどの製造、クレソン栽培、ドライハーブ・・・の開発

美作市地域おこし協力隊

令和 4 年度事業報告書

右手地区 右手養魚センター担当 宇都宮健二

令和 2 年度より美作市地域おこし協力隊員として右手地区の右手養魚センターに着任し、3 年目の令和 4 年度の活動を報告させていただきます。

① 販売イベントへの出店

勝田ひまわり市場と勝田っ子祭りに参加しました。

一昨年の初開催の時より販売数も増加し、右手養魚センターのアマゴの塩焼きを知っていただき串焼きを毎度お求めになるお客様を見るとイベントに継続参加することの重要性を感じました。

② 釣りイベントの開催

秋には溪流釣り場でカップリングパーティーを開催しました。

釣りの経験のない方にも楽しんでいただき参加者の方々に出会いの

場を提供させていただきました。

右手養魚センターでは例年 4 月にアマゴ釣り大会があるのですが、
今後はファミリー層を対象としたニジマス釣り大会を開催する予定です。

③ 閑散期のキャンペーン実施

冬季は釣り場への来場者が減少し閑散期となるのですが、隣接する
トム・ソーヤー冒険村と共同で春休みに向けて宿泊と溪流釣りを割引料金でご利用いただけるキャンペーンを開始しました。

コテージやキャンプ場と溪流釣り場は繁忙・閑散期が同時期であり
閑散期に双方を利用していただくことでリピート率の向上を目指しています。

④ 養魚生産技術の向上

必要な時に必要な量の魚を出荷しないといけませんが、コロナ感染症の影響もあり生産計画を立てるのが難しい状況でも販売予定数に対して育成・抑制のコントロールが行ないやすいようにしました。

また、水産研究所で開催された研修に参加し、魚病への対処や診断について学びました。

寒天培地を使った病原体培養や P C R 検査も体験しました。

⑤ 天災による事故の早期発見・早期対応

自然相手の事業ですので大雨の時などは徹夜で巡回したり水管理に気を使います。

1月の大雪では水路に雪が詰まり養魚池に水が入らなくなる事故が起き、発見が遅れたため損害を出しました。

巡回もできない様な積雪量でしたが、発見の遅れが致命的なダメージとなりますので水路から養魚池に水が流れる様子をカメラで撮影して養魚池にいらなくてもスマートフォンで確認できるようにしました。

⑥ 同業他社との連携

川魚の養殖は人工授精から完全養殖で行うのが主ですが、夏の高水温で親魚の状態が悪いなど孵化率が低下した際に他社も同様の状況か確認したり、自社以外の養殖技術も知る必要があると考え同業者との連携を持ち魚の在庫が足りない時には融通し合えるような関係を構築しています。

⑦ 農業への取り組み

圃場をお借りして自然薯を栽培しており、収穫した自然薯は太さこそ足りないものの地域の方に試食してもらったところ外観も食味も

良い評価をいただきました。

種芋重量・施肥量・支柱の立て方など改善し、令和 5 年度は 250 本の栽培と 100 本の販売を計画しています。

⑧ 地域活動への参加

消防団へ入団して年末夜警に参加しました。

今後は中山間地域活動に加入を予定しています。

また、除雪車や害獣駆除の資格を取得し定住後の地域活動にも積極的に参加する予定です。



勝田ひまわり市場 イベント出店の様子



右手養魚センターにてアマゴ採卵の様子

以上が令和 4 年度の活動報告になります。

最後までご高覧いただきありがとうございました。

地域おこし協力隊
令和４年度 活動報告



東栗倉地域
米山吉将

活動①

○東栗倉 ZINE の制作・配布

例年に引き続き、担当の東栗倉地域をはじめとした美作市の様々な事柄に焦点を当て、取材・記事にしたフリーペーパーの発行を行いました。県内外各所に配布し、エンターテインメントとしての広報活動を行っています。

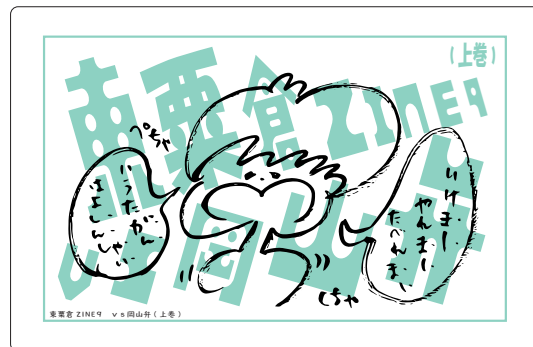
～ ZINE とは～

ZINE(ジン)とは、「販売して売り上げを出すこと」を目的とした商業雑誌=MAGAZINE(マガジン)から由来した言葉で、商業雑誌と反対に売り上げを出すことを目的とせず、「表現すること・伝えること」を一番の目的とした自由な媒体です。



東栗倉 ZINE 8号

「ミマサカ飛び出し注意報」



東栗倉 ZINE 9号

「VS 岡山弁 (上巻)」

市内のいたるところに立っている「飛び出し看板」を本にしました。

移住者目線で感じた岡山弁を、体験談とともに考察や感想にまとめてみました。

～紙媒体であること～

インターネットやSNSが普及した昨今、「なぜ紙なのか」という声も多数ありましたが、一番の理由は単純に紙の本が好きだからです。

紙の手触りや、形として残すことによって新しい情報に埋もれることなく、また「ずっと手元に持っていたい」と思ってもらえるよう、その号によって紙の種類やサイズを変え「集めたい」というようなデザインを心がけています。

→主な配布先

●美作市内、県内外各図書館（西栗倉村・佐用町・赤磐市・真庭市・智頭町・和気町・岡山市・鳥取市・倉吉市・勝央町・吉備中央町・中央市など）

新号発行の際に配布に回り、また定期的に在庫補充や配布の様子を見に伺います。

●他地域の地域おこし協力隊さま

活動を通じて知り合った協力隊や関係者の方々に数冊お渡しし、その拠点や活動場所などに置いてもらっています。

●その他

活動中・プライベート含め、その都度知り合った方や伺った先でお渡しし配布活動を行っています。

→成果

●新号の配布に回った際に「楽しみにしていた」という声をいただいたり、「次の号はまだ？」という声をいただいたり、徐々に広まっていき楽しんでもらっている様子を実感しています。また、新しく知り合った方が実は読者だったり、「全号集めています」というマニアがいたり、多くの方に注目していただいています。

●市内ケーブルテレビ・みまちゃんネルさんに取材していただいた「東栗倉 ZINE 4号」の放送回が、昨年度の「岡山県ケーブルテレビ振興協議会」で年間グランプリを受賞されました。これにより、SNSなどで在庫の問い合わせや配布希望の連絡をいただき、当冊子を通して美作市の名前を県内に広めることが出来ました。

活動②

○美作の山 ZINE の制作

アウトドア業界で働いていた経験を活かし、美作市にある様々な山に行き、実際に登った感想や出来事、見たものや食べたことなどをまとめた冊子を制作中です。（23年夏ころ完成予定）

また、美作市では既に「美作トレッキングマップ」が発行されていますので、場所・アクセス・ルート等の情報よりも自分なりの体験談や気持ちをエッセイ風にまとめることで区別しています。



塩垂山



大仙山



竹山城跡



竜王山



城山

→主な配布先

こちらは「東栗倉 ZINE」と違い山やアウトドアに特化した内容になるので、主に登山会や山のイベントで直接配布、少量を読み物として図書館などに置かせていただく予定です。

※東栗倉地域にある駒の尾山・船木山の山行の様子が「山と溪谷社・ヤマケイオンライン」の登山靴モニターのページに掲載されました。（https://www.yamakei-online.com/yk/monitor/m_keen2022/monitor-report/）

文章よりも分かりやすく、子どもや高齢者の方も手軽に読めるものとして絵本の制作を企画しました。ストーリーの舞台には、「県内最高峰」という魅力的な特徴と、「山が好き」という自身の特徴に最も合致していることから東栗倉の「後山」を選びました。



タイトル
「いちばんおおきなうしろやま」



「いちばんおおきなはっぱ」に出会
うシーン



うしろやま登頂達成のシーン

→制作過程

①タイトル決め

後山とはどんな山か？ということがすぐに分かるよう、シンプルに「いちばんおおきなうしろやま」というタイトルにしました。

②ストーリー考案

タイトルから、「いちばんおおきなうしろやまにはいちばんおおきなものがたくさん」というメルヘン性のある設定を考え、話の大筋を決めていきました。

③画材選び

冊子作りやデザインと違い絵の経験は無かったため、様々な画材や紙を使用し絵柄の試し描きを行いました。鉛筆、ペン、クレヨン、パステル、絵具、色鉛筆、クーピーなどの種類から、細め、太め、濃さ、水性、油性など一通りの組み合わせを試し、最終的には本線をクーピー、色塗りを水彩絵具での清書を決めました。

④ページ割り

ストーリーの大筋に沿って、見開きの大きいシーンや、ページをめくるタイミングでの話の流れなど細か

い点を決めていきました。見開きの2ページで場面を変えない、場面と本文のリズムがゴタゴタにならないようになど適合性をとっていくのが大変でした。

⑤構図決め

ページ割りで決めた内容に合うよう、絵の構図を考え下書きをしていきます。何案か構図を描き、良いと思う絵に合わせて本文を書き換え、時にはストーリーやページ割りの変更もあり試行錯誤を繰り返しながら進めていきます。

⑥清書

構図の下書きを参考に水彩紙に清書を行っていきます。デジタルでの作業ではないので、少しミスしたら描き直し、を繰り返して1枚1枚描いていきます。この過程でも、新しい案が浮かんだり楽しい場面がひらめくとその都度内容を変えていきます。1日1枚を目標に、時間をかけて何度も見直し最終的な絵、ストーリーが出来上がりました。

→配布について

現在（23年3月時点）、印刷会社様と仕様や予算について協議中であり、明確な完成冊数が未定です。冊数により配布場所や配布方法が決定しますが、市内図書館や人の集まる施設へ寄贈し多くの方が誰でも閲覧できるような形にしたいと考えています。（個人単位への寄贈は予定していません）

また、23年の夏頃を目安に原画展を開催し、当絵本の実物と原画、制作の過程で使用した様々な備品を展示することで活動の様子を知ってもらう機会を計画しています。その際、飲食店の誘致や原画・ノベルティグッズのプレゼントなどを実施し、市外からも人を呼べるようなイベントにすることで関係人口に貢献できればと考えています（会場：コミュニティスペース「ヨリビト」様）。

活動④

○その他いろいろ



●後山トレイルランニング準備・スタッフ

昨年10月に行われたトレイルランニングにて、コースの整備・除石や案内板設置などの準備を地域の方と行いました。



●県境交流登山会準備

地域の方の主催する登山イベントにて、準備やスタッフとして参加しました。



●美作アルプス ルート看板の設置

駒の尾山、船木山、後山にてルート番号の書かれた看板の設置・補修作業を役所の方と行いました。



●おくのへや 運営

東粟倉支所内「おくのへや」の運営・作業と、月一回「おくのへや通信」を発行し広報と一緒に地域の方にお届けしています。



●他市町村の地域おこし協力隊との交流

他地域の協力隊イベントや拠点に積極的に伺い、「東粟倉ZINE」の配布や活動報告などを行っています。



●コミュニティスペース「ヨリビト」さんにてボランティアスタッフ

ZINEの配布のご協力をお願いしているとともに、イベント開催時の出店・参加やお手伝い、移転に伴う改修や作業に参加させていただきました。



●地域作業

水道掃除やしめ縄作りなどの地域行事に参加しました。

その他

●東粟倉地域高齢者大学で使用する問題集やクイズなどを作成

●図書室での本読みカードに押す消しゴムハンコの制作

●レイアウトソフトの講習

など、メインの活動の合間に依頼いただいた作業を行いました。



もくじ

01

地美恵の郷みまさか

02

定住に向けての
活動

03

ミッションへの
活動

01

地美恵の郷みまさか

地美恵の郷みまさかとは
美作市内で捕獲、駆除された野生鳥獣のうちニホンジカとイノシシを主に
個体の受け入れ～食肉処理まで一貫して行う施設である

施設があることにより猟師の方の負担を減らし、良個体の搬入については報奨金を
支払うなどして自家消費をすることができない等の個体を受け入れ、
地域資源として、全国へ流通させ命を無駄にさせないための処理を行うことができ
る施設となっている



施設の搬入基準に見合うよう
頭部のみを打ち抜いた
シカとイノシシ

01

地美恵の郷みまさか

害獣と呼ばれるが本来、殺されるために生まれてきた命ではないため
少しでも無駄なく活用してあげることによって初めて資源としての価値が生まれてくる

田畑を荒らされ余儀なく駆除する人がいて、消費者として肉を必要とする人がいて
頂戴した命を糧として私たちが一般的な生活を送れている事を身をもって実感し、
関係のない人たちまでこういった実情を理解してもらえよう、地元の知人たちにも
お土産として話を聞いてもらい動物を駆除する際の動画を見てもらう事ができた

01

地美恵の郷みまさか

施設を管理する業務に携わり、一昨年取得した国産ジビエ認証施設としての名に恥じない製品をプロダクトできるよう努めている

また、鳥獣利活用推進事業のメンバーとして農林水産省や日本ジビエ振興協会とともに討論会を実施したり、セミナーで話をする機会をいただくことができた

02

定住へ向けての活動

美作市内で活動する狩猟グループに参加をさせてもらい
週末にイノシシ猟で出向くなど
地域の方との交流がより増えた



03

ミッションへの活動

活動時間外であることもあるが、
美作産のシカやイノシシを味わってもらうために
県内外で屋台出店をする機会も多く設けられた



大阪での出店の様子

03

ミッションへの活動

美作地区内での
有害鳥獣駆除活動にも参加し
少しでも被害を食い止められるよう努力をし、これからも続けていきたい



まとめ

2年間で地美恵の郷みまさかでの運営に携わり
施設をより良く、施設から出荷されるプロダクトの状態・品質向上の為
1年目より多くの時間を割く事ができた。

イベント出店などを利用し、美作産ジビエの啓発活動の結果、
利用者の方からとても励みになるようなコメントもいただくことができた。

来年度、任期の最終年になるかと思うが、より昇華して続けていくべきところ
改善を図れる部分を改めて見直し活動に励みたい。

地域おこし協力隊活動報告 ～湯郷温泉～

令和4年度
峯平 晃太

勤務目的

SNSなどを使用し、美作市の魅力を発信すること

イベントなどを主催し、観光客を呼び込むこと

上記の二つが大きな目標として掲げています。

湯郷温泉観光案内所内勤務

お客様の道案内、お店案内、電話対応、宿泊予約代行

湯郷温泉旅館協同組合、湯郷温泉観光協会の電話対応、書類作成、イベントチラシの作成等

撮影してきた、写真や動画の編集等

SNSなどの更新作業

湯郷温泉観光案内所外作業

湯郷温泉旅館協同組合、湯郷温泉観光協会での清掃（草刈りや河川敷にて野焼きなど）、イベント準備のお手伝い

月に一回湯郷温泉旅館協同組合女将の会にてお稲荷様の清掃（草刈り）などに参加

美作市主催のゆのこうマルシェの準備、かたづけのお手伝い

美作市各所にて観光スポットの写真、動画撮影等

実施したイベントについて (宿の花火in湯郷)

8月10日（宿の日）全国各地の旅館様と協力をし宿の日に打ち上げ花火を実施致しました。

実施した目的として、花火と宿泊業という日本の伝統文化を支える異業種がこのコロナ禍を乗り越え、コロナ終息後も花火と宿泊業が日本の伝統文化の中心として在り続けることを目的としておりました。

大変多くのお客様にご来店していただき、大盛況で行うことが出来ました。

今年も実施したいと考えております。

宿の花火in湯郷



実施したイベントについて (湯郷温泉キャンピングカーフェスティバル)

12月3日に湯郷温泉キャンピングカーフェスティバルを開催いたしました。

湯郷温泉で新規のお客様の層を獲得すべく発案したものが、近年ブームであるアウトドアやキャンピングカーのお客様たちでした。キャンピングカーをもってくださった方々は中四国、関西方面から来てくださいました。

本イベントを行ってよかった点としましてはご来場のお客様、キャンピングカーを持ってきてくださった方々、キャンピングカー、アウトドアショップ、地域の飲食業の方々に「たのしかった」「よかった」と満足していただけたことです。多方面の方々と協力していくことで湯郷温泉を盛り上げることができたのではないかと感じております。

キャンピングカーを持ってきてくださったの代表の方と美作市市長が対談をしていただきました。河川敷等にRVパークを作成することにより継続した集客につながると考えております。

湯郷温泉キャンピングカーフェスティバル

湯郷温泉 キャンピングカー大集合!
CAMPINGCAR FESTIVAL

12月3日(土)
湯郷温泉河川敷 13:00~21:00

※雨天の場合は市営駐車場

イベント情報!

- 打ち上げ花火 20:00 打上げ ※雨天中止
- アウトドア商品展示・販売&体験 テント宿泊(事前予約必要)
- キャンピングカー展示 販売車、オーナー車、カスタムカー
- BBQ 先着60名様にプレゼント ※1組4名様利用(15セット) 13時から受付開始
- フードエリア 複数の店舗が出店

お問い合わせ先
湯郷温泉観光案内所
TEL (0868) 72-2636
詳しい内容はQRから

お車は美作市営駐車場にお停めください
駐車場から会場まで徒歩3分
主催:湯郷温泉旅館協同組合 共催:湯郷温泉観光協会

イベント&出店者リスト

スケジュール	DELEAUX	マキレレ
13:00 開場、BBQ受付開始	キャンピングカー展示(13時まで)	ミニコンサート
14:00 BBQ開始	HAC BASE Live your own style of LIFE カスタムハイエース展示(15時まで)	
15:00 コンサート開始(1回目)		
16:00 コンサート終了		
17:00 コンサート終了		
18:00 打ち上げ花火開始		
20:00 打ち上げ花火終了		
21:00 閉場		

フード&出店者リスト

-かき屋- たこ焼き、うどん	-湯郷青年部- 焼き鳥、ビール	-Cafe青春 ANON- コーヒー、五米アード	-まっちゃん- モッパーズ
-いい食堂- 懐熱焼きそば	-得正・むすび家- カレーうどん、お肉すき	-おいもマルシェ- 焼き芋、いもスイーツ	-T's CAFE- PIZZA(ピザ)
-女将の会- 新商品スイーツ	-みるるカフェ- ジュース、飲み物	-串焼きのまさ- 豚ハラミ串焼き	

黄色いライオンミッケ!
〜湯郷温泉クリスマス〜
湯郷温泉に黄色いライオン?
たくさん見つけるいいことがあるかも!

お問い合わせ先
湯郷温泉観光案内所
TEL (0868) 72-2636

まとめ

今年任期の折り返し地点を超え、残すところ1年となりました。多くの方たちにお世話になったと感じております。

私が今年一年感じたことは地域の方たちと一丸となることで大きなことができるということです。

あと一年となりましたが、今後もっと湯郷温泉を多くの方たちに知っていただき足を運んでいただくことを目標とし、地域の方たちと連携をしつつ切磋琢磨頑張っていきたいと考えております。



湯郷温泉

令和4年度 地域おこし協力隊 活動報告

上山地区 熊丸博樹

受入れ団体：NPO法人英田上山棚田団

- 地域のこと
上山地区での暮らし
- 棚田のこと
英田上山棚田団の活動とこれから
- 稼ぎのこと
卒業後を見越しての活動
- 今後のこと

地域のこと

上山地区では年間行事や出会い仕事がある。

どれもが「**自分たちの暮らす地域は自分たちで守る**」という意識で行われており、暮らしていくために重要な作業である。集落全体の作業や有志によるもの、突発的なもの（自然災害）がある。しかし、過疎高齢化している現状では行政の助けも必要で、協力隊は頼もしい存在として期待されている。

地域保守（水路掃除、神社清掃、竹林整備）



公会堂補修



地域消防団



地域のこと

地域の住民とのコミュニケーションをとることで、お互いに円滑な暮らしを続けることができる。

サロン（毎月1回）



毎月1回、地域の方と移住者でお昼ご飯会

花壇整備（不定期）



お母さんたちの衣装のほうが鮮やか。

夏祭り（8月）



一度は途絶えた夏祭りを、移住者の呼びかけで復活させ、継続中。

棚田団のこと

受け入れ先である「NPO法人英田上山棚田団」での活動。

上山地区は棚田でつくられていると言ってもいいほどの棚田がある。最盛期には8,300枚もあったとか。しかし、そのほとんどが耕作放棄地となり、藪や森に還ったところを再び活用できるように活動している。これからの**棚田に新しい価値**を作っていくのが棚田団である。

お米づくり



棚田団のこと

棚田を再生・保全していくためには多くの協力が必要です。それは人の手も、資金面でも。

そこで2021年度から「**稲株主制度**」を開始。

棚田団の活動に共感した方が稲株の主になり、一緒にお米づくりを体験していく制度です。

収穫できたお米は「**配当米**」として還元されます。

2年目にあたる今年度は約80人（約150口）の株主様により支えられ活動しています。

稲株主イベント



水路掃除、田植え
草取り、稲刈り
株主総会
年5回のイベント



収穫祭

棚田団のこと

棚田で収穫したお米はJAに出荷していません。
半分ほどが自家消費ですが、翌年のお米づくりの資金を確保するためいろんな方法で活用しています。

お米の行方

お米の生産

英田上山棚田団 Aida Ueyama Tanadadan



「上山の千枚田を再生させよう！」

かつての棚田を取り戻し、棚田ならではの
食糧や文化を未来に残したい。
それが英田上山棚田団の思いです。

上山商品オンラインショップ
ueyamaippin.theshop.jp



・糀商品
加工は高見味噌（美作市）さまへ
依頼し、商品化。



玄米コーヒー メモリザ
原材料として出荷。



ご飯食べ放題
おかず(米の友達)を
持ち寄って、
おいしくいただく。

東京

大阪

岡山



棚田団主催イベント 米友達（マイフレンズ）
稲株主の広報の一環として、各地で開催。

稼ぎのこと

卒業後を見越して
棚田作業をメインとして副業を組合わせて暮らしていけるように模索している。

・農機具や道具の診療所

前職の農機具の知見を活かし、修理改造できる工房。
ガス溶接の技能講習を修了。板金補修や部品づくりに役に立つ。

・電気工事士

案件ごとやスポット応援ができるため、田んぼ作業の空き時間に
対応できる。また、生活の中でも役に立つ。
2種電気工事士の資格を取得。来年度は高所作業車の免許を取得予定。

今後のこと

・ いちよう庵の活用

庵主（3代目）として棚田団の拠点である「いちよう庵」を運営する。
飲食だけでなく、WS、間借し、イベントなど
棚田団の特徴を活かした内容で、エネルギー溢れる場所にする。

棚田観光に来られたお客様の観光拠点としての役割や、棚田の魅力を発信していく。
また、周辺を整備し、散策や子供が遊ぶ場所に変えていく。



地域おこし協力隊 令和4年度事業報告

事業目的

1. 定住へ向けての準備
2. 地域の各種イベントへの参加
3. 地域の活性化へ向けての取り組み

報告者：種岡 博之・長岡 邦彦

前置きとして：報告者の長岡とは同時に地域おこし協力隊に応募し、住居をシェアしていることもあり、行動を共にすることが多いため、報告内容も共通するところが多いことをご了承願いたい。

1、定住へ向けての準備

ア、住居に隣接している農地を活用して、地域の特産品となる農産物を生産



イ、資格の取得

農業機械や除雪機の運転に備えて、大型特殊自動車免許を取得。

2、地域の各種イベントへの参加

- 4月：山焼き
 - 5月：田植え
 - 6月：梅まつり
 - 7月：水田防除
 - 8月：花火大会(交通整理)、稲刈り
 - 9月：稲刈り、稲粃乾燥、小学校の運動会
 - 10月：トレイルラン
 - 11月：水源清掃、茅刈り
 - 12月：雪かき
 - 1月：雪かき、どんと焼き
- etc...



3、地域の活性化に向けての取り組み

防護柵の修理

水芭蕉栽培地の整備

田んぼの法面へ芝桜の植付け

さとやま公園の整備

地域内各所にて草刈り

梅園にて梅まつり

etc...



今年度の反省点：農業に関しては初年度ということもあり、生産技術の未熟さからあまり良い成果ではなかった。

また、各種イベントはどれも普段経験できないことであり、それなりに楽しめた。

地域おこし協力隊についての理解が浸透していないところもあり、地域の方々に遠慮が見受けられたかもしれない。

翌年度の目標：農業に関しては、作りやすい品種の選択や、生産技術の向上を図ることで、生産品質を上げていく。また、良く出来た農産物の販路を開拓していく。

各種イベントは我々で提案できることはないか模索して、安全を重視しつつ、効率化を図っていく。

地域おこし協力隊の活動を地域に発信して、我々の活動をより身近に感じていただけるようにしていく。

令和4年度活動報告

美作市地域おこし協力隊

～ あの日のおもちゃ箱 昭和館 ～

竹林 照夫

湯郷温泉は「おもちゃの街」

おもちゃで地域おこしを行い、温泉街の活気を向上させる。

令和4年度の活動実施事項

日時	行事内容	行事内容
1. 令和4年4月28日、29日	昭和の日、 大道芸大会	昭和の大道芸、 「かまの油売り口上」 「バッチの中きり」 「紙芝居」 「腹話術、他を兼ねる」
2. 5月3～5日	子供の日 (甲冑の着用、コスプレ)	「タンポポル甲冑を作成し着用し 子供の成長を祝う、 地元小学生の参加」
3. 6月中旬～7月末	七夕祭り	「湯郷もとも園の園児の皆様の 協力も得て七夕飾りを製作 しました。 「伝豆冊の書き込み」に 関係者により実施」

4. 令和4年8月～9月 風鈴祭り

昭和館所有の葵のしし風鈴
を中心に入館者及川湯郷
の通行する人々に涼感を味わ
ってもらう。

(新店舗開業の為一部移動)

5. 令和4年12月19日 小松崎美術館 オープン

町中コレクション

12/19 湯郷マリエにて

オープンPR活動実施

6. 令和5年2月20日 昭和館入館者103人
達成記念講演

小松崎茂氏に關わる
2人の方の講演

まとめ：令和4年度では、様々な新規イベントの企画実施を
させて頂いた事も、御指導いただきを感謝しております。

コロナ禍の下で入場者の延びにも考慮される面もありましたが

今年は、観光の復活も十分に考えられています。

昨年のイベントもよりいそう、バージョンアップを行って湯郷おもちゃの街
をマニールしたいと思っております。

令和4年度事業報告書

大原観光協会 1 年目

地域おこし協力隊 細野照潤



武蔵の里 水車小屋

武蔵の里 大原観光協会

拠点作り

- ・ 事務所作り
- ・ ガイドトーク～里の知識～
- ・ 声掛けスタート
- ・ SNS配信スタート～2つのアカウント～
- ・ 清掃範囲を広げる
- ・ 最初の商品
- ・ データベース作成
- ・ 店舗を作る～みやげ屋武蔵～
- ・ 商品集め～お土産品～
- ・ 自分で絵を描く
- ・ オリジナル商品を作る

観光事業の取り組み

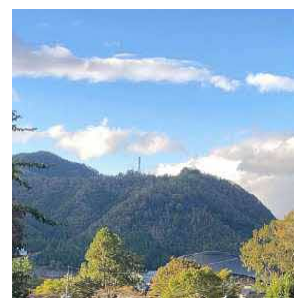
水車米の復活案
再整備検討委員会への参加
学生ガイド滋慶Caféの素案
三宿会議参加オフア
自販機展開素案

地域交流

大原中学校 1 学年地域学習ガイド
大原中学校 1 学年進路学習講師
定住活動 「ご近所付き合い」～中町～

今後の里の観光案

イベント～再開と新たな取り組み～
武蔵の里 観光事業案



竹山城跡

事務所作り

勤務先となったのは、元カラオケ喫茶でした。

3畳ほどの待機室のようなスペースに古いモニターや拡声器や家電品のなものが沢山積み重なっており、これを片付けることから始まりそこが事務スペースとなりました。

※住めば都じゃないですが何でも手が届く意外に使い勝手がよくなりました。



現在の作業スペース

ガイドトーク ～里の知識～

先ずは里を歩く。自身が観光客として里を歩くことで何を観て何を学べるのか？ 実体験。

結果としては巡る順序や学べることが今一つわかり難い。

”柱の位置は変わらず“ってそれで？

柱も見れない上に位置って言われても当時の写真もない。

400年の樹齢のタラヨウの木もない。

栗の木もない。ウツギがあるがどれがウツギかまるで判らない。



拠点作り

MAPにある名所の説明が出来る様にする！

観光に訪れるお客様にお配りするガイドマップを観ながら再度すべてを巡るが、クアガーデンが見当たらない、資料館は閉館となっている。五輪坊は門から庭に入れるが施設は閉館されている。交流館？道場はあるが中は見れない。楽市楽座もやっていなかった。

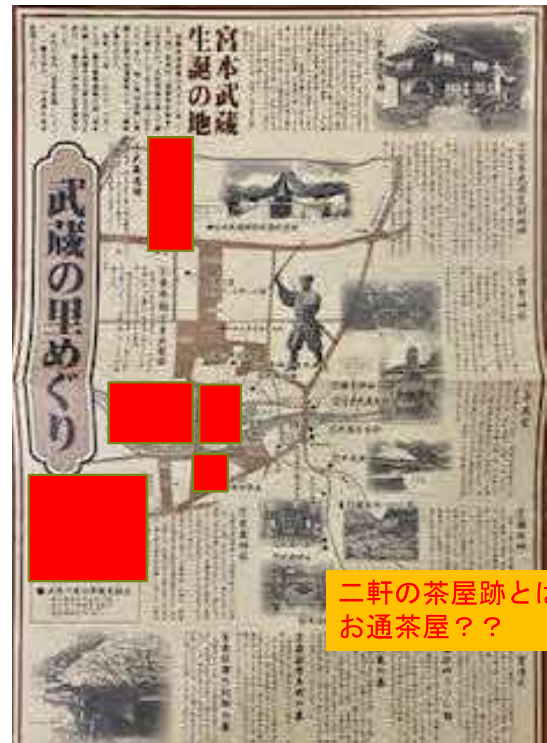
MAPの左半分はほぼ全滅しており、問い合わせ先が掲載されているが、どれも営業されていないので意味がなかった。

これは

声掛けして説明しないとダメだ！

これが最初にやるべきことが決まった瞬間でした。

その後いろいろ見聞きしガイドの際の説明を作り上げ、受けた質問でわからないことをまた確認し、次には応えられるようガイド内容を更新していきました。



拠点作り

HPのメンテとInstagramの開設

HPを見てみると最後の更新が8年前。内容をすべて精査しIDとパスワードを入手し現状の内容に修正。

その後別のサーバーで新たなHPを作成し未完成になりますが現状稼働しています。（最新情報は随時更新）

Instagramはまず**個人ID**で作成し、移住生活をアップ。それに続き仕事としての**武蔵の里のID**を取得し観光地としての情報発信を開始しました。

知り合いの集いにならないようフォロワーは出来るだけ“たまたま”見た人の和で増やす。



<https://musashinosato-kankokyokai.com/>



シールも作成

掃除と声掛けと初商品

清掃範囲を広げる

- ある時、犬を連れてお客様にお墓で犬が汚れたと言われ、“もう少し掃除をした方が良く”と助言を頂きました。
- 店内と店の駐車場は毎日してましたが、それ以外は目立つゴミがあれば片付けるといふものでした。
- 以後、見える範囲、五輪坊、武蔵神社、お墓周りと範囲を広げご案内するルートが常に枯葉一つない状態を心がける様になりました。

商品は「武蔵」手拭い2種

- 元々観光案内としての案内所なのでそれメインでしたが、お土産を売ってる場所を聞かれることも多くありました。
- ある時老夫婦に声を掛けたら、孫に頼まれて手拭いを探しに来た。とのこと。以前販売していたようで古くなったから新しいのを買って送ってほしいと頼まれたそうです。それ以降案内所の入口で手拭いだけを販売するようになりました。
- その半年後再度訪れて頂き無事買われて帰られました。

声掛けでの変化とガイドMAP

お声がけするとしなでは滞在時間に大きな違いが出ます。

声を掛けなければ早ければ5分以内。

声をかけてガイドまで進めば40分～1時間の滞在になります。

当然その後お土産や食事（たけぞう茶屋）へと繋がる確率も上がります。

「何をみて良いかわからない」「回る順序がわからない」「想像と違う」が主だった理由で滞在時間が短くなっています。お声がけして具体的に何があつて何処を観に行くべきかなど、1歩踏み込んでご案内することで少なからず興味を持って頂くことが出来、**折角だから観ていこう！**に変化します。

ガイドはあくまでも看板の文字を読むのではなく、興味を持って頂けるよう、そこに書かれていない情報を与えることで、里における宮本武蔵の世界観を与えることが大切だと思ひ会話をしています。

看板も案内MAPも日本語⇒外国人は何も情報が得られない！



Instagramを利用し、自身のガイドを英文化QRコードで読み取ってもらう

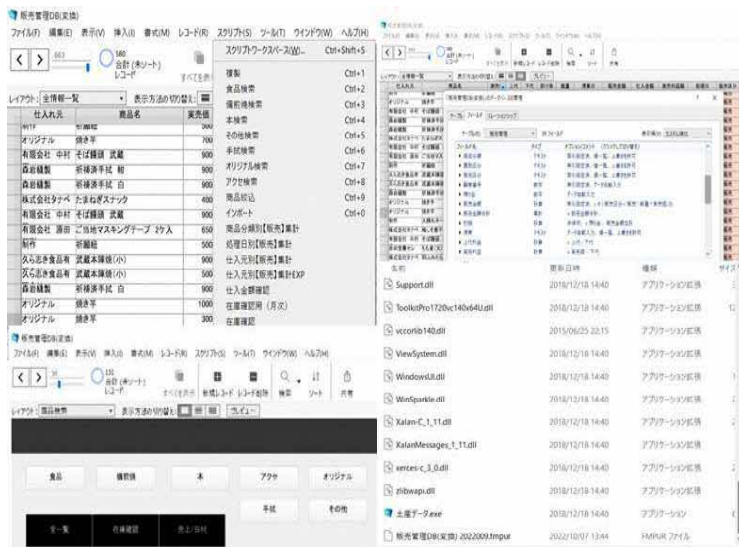
商品管理データベースを作る

最初は「紺」と「白」二種類の武蔵手拭いでしたが、その後其々のB品を安く提供、**セット販売**で値引きなども行っていたため、紙に売上を記載するアナログに限界もあり、商品管理を行うための**データベースを構築**しました。

※当初はレジを置く話もありましたが、商品点数も数がなく、訪れる観光客の人数も限られており、節約も考え自作することになりました。

(現金は家にあった**手提げ金庫**を利用)

万一自分が出来なくなった時にも在庫数や買掛/売掛の状況や取引先情報などが引き継げることも想定



FMJのアプリケーションを利用し専用のデータベースを構築

店舗を作る ～みやげ屋武蔵～

温泉なし、宿泊無し、土産屋なし。

観光で楽しめる要素が少ない中、まずは3つの中でお金と時間の浪費を考えればやはり一番可能性が高い「**土産屋**」を作ることに。

観光協会の皆様、地元の協力を経て

9/5にオープンしました。

(着工は7/13)

みやげ屋 武蔵 と命名



店の 商品を増やす

当然お店なので、観光に来ていただく方が色々選べる様にしなければ楽しんでもらえない。

ネット検索や近隣のお店、周囲への聞き込みを含め、見つけた商品の裏面確認をして販売元に連絡。

店に商品を並べたい個人様とも契約させて頂くなど、周辺のご協力を経て商品を増やしていきました。

※現在は約100点

観光客のお見上げだけではなく、出かける際の“お持たせ土産”としても利用していただいています。



自分で絵を描く

資料館が営業していないことに残念がる人も多い中、宮本武蔵が剣術以外に水墨画など芸術的な分野でも評価されていることを知らないお客様が多い。

そこで説明の意味も込めて、武蔵の絵をサインペンを使い模写。

本物は見せることが出来ない分、模写した絵を見ることで、イメージを広げてもらう。（会話も弾み距離感が近づく効果があった）

中には写真を撮られる方や、販売を求める方も・・・



オリジナル商品を作る

仕入れの商品で品数は増やせたが、ここ武蔵の里でのみ購入できる品物がない。他でも買えるのであれば観光の思い出も薄らいでしまう。また、利益的にも経営が厳しくなる。

武蔵の里の思い出になるものを・・・

- ・オリジナル**缶バッジ**3種類
- ・武蔵神社で手拭いを祈禱し
必勝！**“祈禱済武蔵手拭い”**
- ・武蔵神社で編み紐を祈禱し
努力の増幅**“祈願紐”**
- ・木札キーホルダー
戦いに勝利することを信じて
“勝ち札”“大勝ち札”“丸札5種”

※**祈禱済品**のラインナップを増やしていく予定
※外国人向け**“武蔵Tシャツ”**作成中



水車米の復活

当時水車小屋は軸が折れて可動していなかった。市の予算がおり冬に工事が着手された。（夏には間に合わなかった）

水車を復活させて水車米を作る！

これが観光としての取り組みの1つになったが、色々調査を重ねる中、この水車小屋で作れるお米の量では販売に至らないと結論。

今後は水車で精米風景を**“観る”**

昔の精米を学べるスポットとして観光の一つの目玉にしていきます。



再整備検討委員会への参加

武蔵の里再整備検討委員会が発足されていることを教えていただき、4回ほど視察研修に同行させて頂きました。

全ての視察後に開かれた会議にも特別にオブザーバーとして参加が許可され、その感想含めて自身の見解を纏めたものを素案として提出させて頂くことが出来ました。(タイトル含む8頁)

※観光協会として森岩会長、月見副会長の承認を経て委員会事務局へ提出頂きました。



学生観光ガイド 滋慶Caféの素案

地元には滋慶学園があるが、学園の生徒は武蔵の里を訪れないのが現状。

また学生なのでバイトをしたいが、働く場所がないという問題があり、多くの生徒は岡山に通いながらバイトは兵庫県というねじれ現象。

里に若者が訪れる環境、里で働ける環境、地元と学園のコミュニケーションを結ぶ計画として、

“学生ガイドの滋慶Café”案を提出(大原観光協会承認を経て市の観光課へ)

※タイトル含む11頁

※1/30に滋慶学園へ訪問し打合せ
課題を踏まえ次回提案を作成中

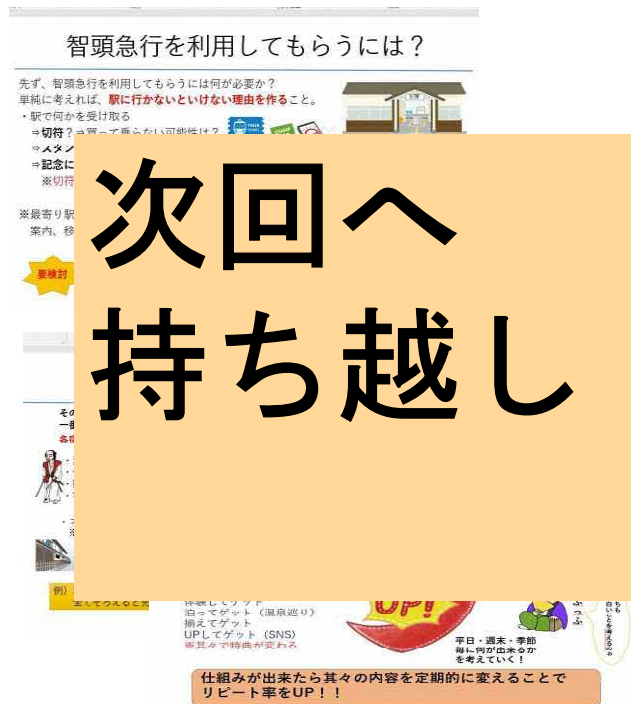


三宿会議参加 オフ

鳥取、岡山、兵庫を結ぶ因幡街道には三宿場があり今もその面影を残しています。

地元も経由する智頭線。すべての宿場を結ぶ路線として、智頭急行、各宿場の観光協会との合同会議が行われている。今回その会議への参加オフを頂くことが出来たが、大寒波の影響もあり会議延期となった。

提出は出来なかったが、次回参加時に内容を精査し、素案提出が出来ればと思う。



自販機展開の 素案

現状の空き店舗の再活用案として、

人件費を出来る限り抑える展開での「自販機展開案」。

電気料や補充という課題があるが、自販機でも今は種類も多く、備え付けてからの自販機そのものを貸し出す方向や、そもそも電気を使わないタイプの自販機もあるのでニーズに合わせた使い方を模索することで実用性は十分に考えられる。

また、こうした設置により24時間お土産を購入できるメリットも生まれる。



地域交流



芋掘り大会

■こども園・大原小学校・東栗倉小学校との芋掘り

地域で育てたサツマイモをみんなで芋掘り（抜き易いよう事前にツルの引き抜きを行いました）

■大原中学1学年フィールドワーク

武蔵の里を説明しながら学生の考えたルートに同行

■大原中学地域学習講演

教壇にて観光のお仕事について説明

地域交流

・宮本地区

ツツジ園草刈り

水曜日の魚屋さん移動販売実現

お通杯ブース出展

武蔵神社 例祭・竹刀感謝祭

・中町地区

近隣草刈り/ゴミ拾い/溝掃除

公民館清掃/神社護摩/参道清掃

宵祭りへの参加



ブース出店



ツツジ祭



今後

今後の里の観光 1

・イベント

高照峰イベント

ハイキング

ツリークライミング

鎌坂峠ハイキングガイド

星祭山開拓

宮本川魚つかみ取り大会

武蔵の里コスプレイベント

ツツジ祭り



ツリークライミングの様子

スラッグラインの様子

今後の里の観光 2

- 通年を通して楽しめる観光地を目指して！！

⇒地域の繋がりを強化
⇒武蔵頼りからの脱却
⇒国内外インバウンド
⇒労働も1つの体験



理想と現実の距離をどれだけ縮める事ができるか？
全てがチャレンジであることを念頭にこれからも地域の皆様と一緒に
努力し続けて行きたいと思います。

最後までご高覧頂きまして有難う御座いました。

地域おこし協力隊 (大原観光協会)
細野 照閏

地域おこし協力隊 令和4年度活動報告

湯郷温泉てつどう模型館&レトロおもちゃ館
山根 悠督

1-1.与えられた課題（模型館）

- てつどう模型館への集客
- **Twitter**以外の広報手段の開拓
- 新規商品開発
- 物販等による売り上げの向上
- 築**15**年経過し、老朽化した**N**ゲージレイアウトの改築
- 模型館所有の乗用可能な**5**インチゲージを整備して湯郷の新名物に

1-2.与えられた課題（湯郷全体）

- 若い人をもっと呼び込みたい
- 広報手段の多様化
- コロナ渦が収束しつつあり、イベント等でまち全体を盛り上げたい
- 温泉むすめを用いた広報・集客を活発化させたい
- 湯原温泉&奥津温泉とは長らく提携して、一般的にも『美作三湯』が浸透しつつあるが、他の温泉地との連携も模索したい

2.普段は何をしているの？

てつどう模型館では

- 館内接客
- 鉄道模型のメンテナンス
- レイアウトの改築工事
- イベントのチラシ作り・配布
- 湯郷温泉観光協会や湯郷温泉旅館協同組合と連携したイベントの準備

2. 普段は何をしているの？

湯郷全体では

- 『温泉むすめ湯郷美彩』を用いた広報活動のお手伝い（YouTubeチャンネルの撮影・編集）
- 各種イベントのお手伝い（合同クリスマスイベント、昭和館記念講演会、侍体験イベント）
- イベントの企画&運営（ゆ〜らぎ橋イルミネーショントンネル撮影会）
- 他温泉地との連携の模索のための視察&出張（令和4年度は兵庫県新温泉町の湯村温泉と全旅連青年部主催の第1回宿フェスに出張）
- 広報物の作製・印刷

3. てつどう模型館での業務



線路延伸工事



車体が水面に映る
ギミックの作製

3. てつどう模型館での業務



てつどう模型館主催の井原鉄道さんでの
夜行貸切列車運行のイベント

4. てつどう模型館レイアウト改築の ためのクラウドファンディング

クラウドファンディングを実施します

おかげさまで15周年
そしてその先へ...

実施期間
2022年9月17日
～
2022年10月31日

湯郷温泉てつどう模型館
& レトロおもちゃ館

☎ (0868)-72-0061
@yunogo_toy_Mus

↑詳しくはこちらへ！

2023年12月20日に開館15周年を迎え、館内のメイン設備であるNゲージジオラマが築15年という、通常
の寿命の3～5倍活躍していることで電気系統の不具
合が多発していたため、これを機に全面改築を決定。

資金はクラウドファンディングで調達し、目標金額
を100万円に設定。

開始から3週間で目標金額を達成することができ、
最終的には155名の方々から1,083,000円のご支援を
賜ることができました。

5. てつどう模型館レイアウト改築工事



令和4年9月末に臨時休館にして全長23mのロングレイアウトの方から改築工事に着手。

かねてより要望が多かった16番ゲージ（HO）のレイアウトも新設。

ショートレイアウトはロングの方と連結するべく令和5年2月より、12月20日完成を目標として順次工事を進めております。

6. 乗用可能な5インチゲージ機関車 & 客車を湯郷の新名物に



てつどう模型館にて長年死蔵され続けてきた乗用可能な5インチゲージの車両と線路を観光案内所や湯郷温泉女将の会、地域おこし協力隊峯平隊員、観光政策課の皆様の助けを借りて補修し、運行可能な状態に整備致しました。

令和4年度は温泉街の合同クリスマスイベントに合わせて12月25日のみの運行となりましたが、令和5年度は運行回数を増やす予定です。

7.温泉むすめを用いた発信

温泉むすめとは？



温泉むすめは、アニメや漫画、キャラクターや声優などのIP（IP：Intellectual Property）を通じて、日本全国の温泉地や地方都市の魅力を国内外に発信するために作られた、株式会社エンバウンドが展開する「地域活性化プロジェクト」です。

具体的には全国の各温泉地をモチーフとした想像上の二次元キャラクター（人ではなく架空の神様）を制作し、コミックやノベル、アニメーション、音楽など多面的な展開を実施。全国の温泉地に任意でキャラクターを利活用（温泉地がキャラクターを使う場合はロイヤリティ&ライセンス費用など一般的なIP利用にかかる費用をすべて無償で提供）いただきながら、キャラクターを演じる声優による現地ロケやトークイベントを温泉地で開催することで温泉地や地域の魅力を幅広く伝え、現地への来訪を促進することを目的としたプロジェクトです。
（公式ホームページより引用）

7.温泉むすめを用いた発信



温泉むすめ 湯郷美彩

湯郷温泉には『湯郷美彩』という温泉むすめがおります。

温泉むすめは、温泉地内であれば旅館やホテルのみならず様々な事業者さんとコラボして展開されております。

湯郷温泉内ですと、美春閣さん、ゆのこう館さん、湯郷ボウルトリアスさん、赤堀酒店さんなどがコラボして活用されております。

8.模型館での温泉むすめの活用



観光協会からの依頼で令和4年4月に新発売された湯郷美彩の缶バッジ（美作三湯イベント仕様）を模型館で販売したところ、約2週間で100個が完売。

ちょうどクラウドファンディングの返礼品で困っており、コラボ商品を返礼品にできないかと著作権元である株式会社エンバウンドと湯郷温泉旅館協同組合に打診させていただいたところ、快諾していただきました。

8.模型館での温泉むすめの活用



てつどう模型館とのコラボで新規絵柄を作成（事業者専用デザインは美春閣さんに次いで2例目）

クラウドファンディングの返礼として限定品のTシャツとポストカードを用意させていただいたところ、Tシャツは50個全て完売、ポストカードは100枚中93枚を販売という結果となりました。

9.クラウドファンディングで見た温泉むすめの底力



温泉むすめファンによる支援が7割強となりました。
温泉むすめファンの中にも鉄道模型を趣味にされている方もいらっしゃる、
常連となってくださった方もいらっしゃいます。

9.温泉むすめで湯郷を活性化



トリアスさんにてファンの方々と美作三湯関係者によるボウリング大会



ゆのこう館さんコラボ開始
お披露目イベント

温泉むすめのファンは、20代～40代の若者が多く、1日に何件もの温泉を巡られる方が多いです。（特に湯郷は奥津・湯原は元より、鳥取の三朝やはわい、東郷とも近接しているので）

つまり何かしらの理由があれば立ち寄っていただける可能性が高いので、継続的なイベントの実施や新規絵柄の作製、新規商品の開発などを観光協会や旅館協同組合と模索。

9.温泉むすめで湯郷を活性化



温泉むすめ湯郷美彩を通じてもっと湯郷を知ってもらいたいという、ゆのこう館の安廣清二総支配人の呼びかけでYouTubeチャンネルを開設。
山根はカメラマン兼編集担当として参画。

9.温泉むすめで湯郷を活性化



美作三湯の観光協会主催のスタンプラリーイベントの湯郷会期（令和5年2月18日～令和5年3月11日）に合わせて湯郷美彩初の冬服&背景付きイラストを用意。

元々は観光協会からのゆ～らぎ橋イルミネーショントンネルの知名度向上策案の依頼を受けたものだったので、背景をゆ～らぎ橋に。

9.温泉むすめで湯郷を活性化

今後の温泉むすめ活用法を模索していたので、新規イラストのグッズはてつどう模型館にてアンケートに回答していただくともらえる粗品として活用。

ポスターは粗品プラス今シーズン・来シーズンに温泉むすめ協賛店舗に掲示してゆ〜らぎ橋を宣伝できるように耐久性のあるユポ紙で印刷。

今年度は美春閣さんとゆのこう館さんに掲示物として配布。



ステッカー



クリアファイル



ポスター

9.温泉むすめで湯郷を活性化

背景の元になったゆ〜らぎ橋でのパネル撮影会を実施。
撮影会目当てに来てくださるファンの方もいらっしゃるの
で、令和5年度の実施も検討したい。

令和4年度の最終回である3月4日開催では、昭和館の竹林
隊員にもご協力いただき、約5年ぶりに旅館組合のマスコットキャラ『ほっぴ〜&ゆっぴ〜』の着ぐるみが参戦しました。



9.温泉むすめで湯郷を活性化



温泉むすめが目当てで湯郷を訪れた方たちに効率よく湯郷を観光していただけるように、パネルの設置箇所やグッズの販売箇所、イベントを網羅したマップを制作。観光案内所から定期刊行と差し替えが容易にできるようにしてほしいという要望を受け、パワーポイントで作成。

10.他の温泉地の視察等



他の温泉地が温泉むすめをどのように活用しているか、それを湯郷で活用できるのかを学ぶために、湯郷温泉と同じく慈覚大師円仁によって開湯された兵庫県新温泉町へ視察へ。

10.他の温泉地の視察等



令和5年2月7日・2月8日に東京ビッグサイトで開催された全国旅館ホテル生活衛生同業組合連合会青年部主催の第1回宿フェスに、全国の温泉むすめを活用している温泉地が集結してブースを運営するとのことで急遽お手伝いに。

11. 地域行事に参加



令和4年度は有志による合同クリスマスイベントに参加。
てつどう模型館ではクリスマスツリーの展示（ドイツ製・オルゴール館さんにて購入）や、水島さんによるおもちゃのプレゼントを実施。

11. 地域行事に参加



令和5年3月5日に湯郷地域交流センターにて開催された侍体験イベントに、カメラマンとして参加。

12. 令和5年度の計画・目標

- ・ 12月20日のてつどう模型館開館15周年に向けてレイアウト改築工事を進める。
- ・ 地域のイベント等に積極的に参加する。
- ・ 7月17日の湯郷美彩生誕祭に合わせて、盛り上げるべくイラストを用意したい。（美作三湯イベントでのアンケート結果を基に）
- ・ 撮影＆編集で協力している湯郷美彩ちゃんねるの投稿頻度を週1回くらいに引き上げたい。（現状不定期）
- ・ てつどう模型館独自のイベントを打ち出したい。
- ・ 湯郷でコスプレや痛車イベントの開催を模索したい。
- ・ 5インチゲージの運行頻度を増やす。
- ・ てつどう模型館で取り扱っている商品を増やす。
- ・ 同業他社はもとより異業種との連携も模索したい。（温泉むすめ活用事業者をベースに）

令和4年度活動報告書

社会教育課

藤丸 蒼

●事業①：美作市文化財保存活用地域計画作成事業

■実施したこと

1.本文で使用する資料(表・グラフ)作成(通年)

○内容

- ・現在作成中の美作市文化財保存活用地域計画(美作市内各所に点在する文化財を後世に守り伝えていくための方針や指針等の取り決め)の本文で使用する表・グラフの作成

○反省

- ・データの収集に時間をかけすぎたために、スムーズな作成ができなかった。

○展望

- ・作成資料の有効活用、及び計画の完成

2.真木山長福寺伽藍跡測量調査(2022/05/10～2022/05/27、2022/11/15～2022/12/03、2023/3/14～2023/3/24[予定])

○内容

- ・測量機器を用いた測量方法を身につけると共に、実際に真木山長福寺の伽藍跡の測量を行い、4枚の図面を完成させた。

○反省

- ・リースする機器の取り違えが起き、混乱を招いた。

○展望

- ・リースする機器の取り違えが起きないようにして、調査をスムーズに行えるようにする。
- ・全調査終了

3.中高生対象アンケート[2022/12/13～2023/02/10(回答期間：2023/1/19～2023/1/31)]

○内容

- ・美作市の中学校、高等学校に在学する生徒[計913人(内訳 中学生：596人、高校生：317人)]を対象に、美作市の歴史・文化への興味・関心を調査し、537件(内訳：中学生474件、高校生：63件)の回答を得た。

- ・分析の結果、回答者の約5割が歴史や文化に興味をもち、同じく回答者の約8割が歴史や文化を守っていくことの大切さを認識していることが分かった。しかし、美作市

の文化財を知っているかと問えば、同じく回答者の約8割が知らないと答え、知名度(または認知度)の低さがうかがえる結果となった。

○反省

- ・対象者全員の回答を集められなかった。
- ・特に高校生においては、アンケートへの協力の呼びかけが少なかった。
- ・データ分析に時間をかけすぎた。

○展望

- ・データ分析をもとに、適宜計画に反映していく。

●事業②：資料館収蔵品整理事業

■実施したこと

1.旧武蔵資料館の収蔵品の把握、整理(2022年7月下旬～8月下旬)

○内容

- ・作東美術館の収蔵庫に保管されている宮本武蔵関連の収蔵品の把握。
- ・整理及び保管するためのラックやたんすの設置、及び破損防止対策
- ・刀剣類の手入れ方法の習得

○反省

特になし。

○展望

- ・収蔵品のよりよい保管環境の構築

2.各資料館施設の清掃(2022/9/15,2022/10/18)

○内容

・作東バレンタインパーク所在の作東歴史資料館、及び林野所在の美作市歴史民俗資料館(旧中国銀行林野支店)の清掃

○反省

特になし。

○展望

- ・各施設の清潔環境の維持

●事業③：体験講座事業

■実施したこと

1.夏休み中の小学生を対象とした勾玉制作講座(2022/08/03 実施)

○内容

- ・古代の装飾品として有名な勾玉を制作し、工作を通して歴史への興味、関心をもたせる。

- ・定員 15 人に対して 22 人という多くの参加者が集まり、特に大きなトラブルもなく無事大盛況を収めた。

○反省

- ・基本的には購入したキットの説明の通りに作業を進めてもらったが、わかりにくい作業を含めた実演での説明がもう少しあってもよかったのではないだろうか。

- ・会場の備品(市民センター大研修室にある椅子を納める台車)で遊ぶ参加者も見受けられたので、怪我人こそ出なかったものの、倉庫に片づけておく等の対策をする必要があったと思う(保護者の監督責任ではあるが、それでも見つけ次第注意して即座に片づけるということもできたはずだ)。

○展望

- ・次回開催時での対策の実施。

2.ワークショップ参加(2022/07/24,2022/08/07)

○内容

- ・来年度以降の題材の参考とするために、備前市文化財管理センターで開かれるワークショップに参加し、とんぼ玉とレプリカの古代鏡の制作方法について学んだ。

○反省

特になし。

○展望

- ・今のところは来年度も勾玉の予定にしているが、せっかくとんぼ玉や古代鏡のレプリカについて学んだので、どうしていくかは今後課内にて検討を行っていく。可能であれば、年一回ではなく、3～4回くらい講座を開ければなおよいだろうか。

●事業④：企画展事業

■実施したこと

なし

○内容

なし

○反省

- ・作東美術館の収蔵庫にある宮本武蔵が描いたとされる美術資料(主に絵画)の展示会の開催を考えたが、具体的な案をまとめることができなかったため、開催に運ぶことができなかった。

○展望

- ・現在、武蔵が描いたとされる『達磨頂相図』の修復を業者をお願いしており、それが完

了した頃を目処に改めて企画を考えている。

●事業⑤：美作市歴史文化財研究会事業

■実施したこと

1.会計の管理(通年)

○内容

- ・美作市歴史文化財研究会の会計管理

○反省点

特になし

○展望

当団体の円滑な会計管理の実行

2.研修旅行幹事[2022/10/28~2022/12/06(実施日：2022/11/27)]

○内容

- ・研修旅行参加者取りまとめ、旅行会社(吉野観光)との打ち合わせ、参加費の取りまとめ、当日の円滑な旅程運営

○反省

- ・旅行先での行程を決定するのに時間がかかってしまい、参加者に旅行に参加できるという通知が旅行当日近くまでになってしまった。既に定員に入った参加者については、その時点で参加できますという旨の通知をすることができたはずであり、その上で案内文や最終版の旅程表等を改めて郵送で通知するということもできたのではないだろうか。
- ・当日、鳥取城跡周辺にて予定外の自由行動が起き、予約していた施設(仁風閣)に謝りを入れる事態を起こしてしまった(混乱を招くので極力控えていただきたいと会長にはお伝えした)。

○展望

- ・来年度以降実施の際の円滑な幹事運営及び旅程の完遂

3.会報誌作成(2023/01/19~2023/3/9 2023/3/13 以降完成版到着予定)

○内容

- ・美作市歴史文化財研究会が発行する会報誌の発行準備、内容及び校正の打合せ

○反省

- ・校正までに時間をかけすぎたために、発行準備に手間取った。

○展望

- ・発行完了及び次回発行分の寄稿文等の依頼

■まとめ

初年度となる本年は、右も左もわからない状態からのスタートだったが、普段の業務や様々な活動を通して市内の歴史や文化財にふれ、改めてこれだけの魅力あるものをどのように市内外に知ってもらうかを考えていかなければならないと思うことができた。では、講演会やイベントを開くにしろ、学校行事で文化財を巡ってみるにしろ、そのきっかけを作るにはどうすべきだろうかを考えていきたいと思う。

令和4年度 協力隊活動報告

美作市地域おこし協力隊 長岡一幸

活動テーマ

心と体の元気づくり

主な活動

- 作東B&G海洋センターの業務サポート
- 自主企画による心身の健康応援活動
- 依頼や要望に応える心身の健康応援活動
- 学びと教え

作東B&G海洋センターの業務サポート

活動拠点が作東B&G海洋センターということもあり、プール運営に携わった経験などを活かして夏場のプール開放を中心にB&G関連業務をサポート。

中学校授業に備え4月後半から掃除を開始。令和4年度はコロナの影響で授業利用はありませんでしたが、3年ぶりの一般開放も無事に楽しんでいただくことができました。



B&G艇庫でのカヌー体験サポート。水辺のアクティビティではちょっとした事故でも命に関わる可能性があるので、体調や安全に十分注意しつつ楽しんでもらいます。



作東B&G海洋センターの業務サポート

経験や知識、得意なことも活かしながら気になるところは指摘・改善。利用する人にも働く人にも安全で有意義な施設となるよう今後も引き続き意識し行動していきたい。

地域の人など気軽に誰でも利用できるミーティングルームのはずが、長年危険をとまぬ誤った使われ方に。支所やBG職員の協力により本来あるべきかたちに少し近付きました。



猛烈な暑さをやわらげるためにサイドシートを上げますが、これまでは随分と苦労されていたようなので、活動費から滑車やロープを購入し楽に安全に作業できるように改善しました。



自主企画による心身の健康応援活動

長く暮らした大阪と比べると美作は人も地域もずいぶん不健康なイメージ。誰かの健康や自分自身の健康のためにも気軽に楽しめる運動機会を色々と設けていきたい。



レクリエーションスポーツやノルディックウォーキングなど多様な体験を通して心と体の元気づくり。健康生活のきっかけづくり。

テスト的にスタートし様子をうかがいつつ、新たなレク道具を試す機会としても利用。

美作は大阪や淡路島と違いこういったことに興味はあっても自ら足を運ぶところへのハードルがなかなか高いようなので、次年度は方向性を変えてのアプローチを検討中。

ちなみに興味を持ち足を運んでくれるのは、ほぼ移住者。

自主企画による心身の健康応援活動

地方だからといって多様な経験ができないような美作にはしたくないし、自分自身も暮らしていて楽しくない。様々なかたちで色々な体験を提供していきたい。

レクリエーションは屋内での活動が多いですが、屋外だによりリラックスして楽しむことができます。気候の良い頃には屋外での企画も実施していきたい。



令和5年3月末にB&Gで様々なレクリエーションスポーツを体験できるイベントを予定。

スポーツは本来、運動の得意不得意に関係なくみんなが楽しめるもの、ということが少しでも伝わる機会になるといいな。

依頼や要望に応える心身の健康応援活動

最も力を入れている活動がレクリエーションやノルディックウォーキングなど依頼や要望に応えるかたちでの元気づくり。声があれば美作市内市外に関わらず訪問。

「子供たちに何か体験させたいんですけど」「イベントの中で2時間ほどレクをお願いしますか」など人数や場所に関わらずどんな声にも応えるようにしています。



親子交流会でのレクリエーション。子供チームvs大人チームで大接戦。年齢や体力に関係なく誰でも同じ条件で楽しめるのがレクリエーションスポーツの良いところ。



依頼や要望に応える心身の健康応援活動

今年度は子供関係からの依頼や要望が主だったが、成人の健康維持増進にノルディックウォーキング体験やレクによる高齢者のフレイル予防なども増やしていきたい。

地域の健康活動。レクリエーションスポーツはフレイル予防にもおすすめ。人生の大先輩の方々がいつまでも元気でいられるよう交流機会を増やしていきたい。



4月開催予定、地域の健康ウォーキング企画の下見に同行。ボールの貸し出しや当日の対応だけではなく、健康的な活動へは最大限協力。



依頼や要望に応える心身の健康応援活動

施設や団体からの依頼対応だけでなく、様々な要望に応えるかたちで個人の体験や各種相談にも対応。誰かを介した間接的な心の元気づくりにつながる活動。

幼稚園の園長で親子が楽しめる場づくりもされている方からの要望に応えレクスポとノルディックウォーキング体験。その後の活動に取り入れたそうです。



「コロナの影響で子供たちのゲーム時間が増えてしまった」との相談を受け、室内でも気軽に遊べる小さなモルックを手作り。子供だけでなく福祉施設でも楽しんでもらえたようです。



学びと教え

健康をテーマとした活動は淡路島の頃と同じでも環境はまったく違う。美作の環境で美作に必要と考えることを行うには、新たな学びや心の支えとなるものがあつた方が心強い。

自ら学び⇒自ら体験⇒地域に還元。どんなことでもまずは自分自身で体験し、楽しさや健康効果を自分なりに考えた上で活動に取り入れています。



レクリエーションセミナーの一場面。高齢化が著しいレクリエーション協会の若手育成事業。しかし若手の参加が……。多様化でレクが求められる時代、県レクとのパイプは活動の支えとなる。



学びと教え

何かを学びそれを伝えようとする活動の幅が広がり求められることも増えてくる。それが嬉しい。誰かの心をほんのちよつとでも元気にできる機会が増えるのなら、いくらでも学び続けたい。

県レクセミナーでレクリエーションゲームのマンカラ講師を担当。それぞれの得意分野を教えたり教わったり。レクや人生の大先輩方から得られるものは非常に大きい。



小学校授業でのレクスポ体験。運動が苦手でも楽しめるのがスポーツ。スポーツはみんなのもの。健康で豊かな人生のためにも本来持つ「スポーツ」の意味を知ってもらうのが狙い。



次年度へ向けて

- 今年度の活動の中でも述べたように、令和5年度は子供関係に益々関わっていくのはもちろんのこと、健康維持や増進、フレイル予防など大人の元気づくりの機会を増やせるよう活動していきたい。
- そのためにも、最もヘルシーなスポーツと言われているノルディックウォーキングの普及にも努めていきたい。
- 交流の内容や幅を広げるためにも、引き続き積極的に新たなことを学び取り入れていきたい。
- オリジナルのレクリエーションスポーツを考案し地域の元気づくりに活かしていきたい。
- 協力隊の大切な活動の一つである卒業後への道筋づくり、こちらについても考え行動を開始する2年目としていきたい。

最後に

私は見た目で運動が得意と思われることが多いのですが、まったく逆。でもスポーツは大好き。なぜかと言うと本来スポーツとは気晴らしや遊び、楽しみということを知っており、そのとおり楽しんでいるから。

運動が苦手はあっても“スポーツが苦手はない”はずなのに、競技志向が強すぎる日本では子供の頃からスポーツが苦手、嫌いと言口にする人も少なくはありません。

都市部ではレクリエーションスポーツが学校の部活動に導入され始め、多くの地域では誰もが気軽に安心して利用できる公園などがあり、みんな日常的に健康的に運動を楽しんでいます。

残念ながら私にはレクリエーションスポーツを部活動に導入できる権限もないし、健康的に楽しめる公園が皆無の美作に造ることもできません。しかし、レクリエーションをとおして“スポーツとは”を伝えたり、ノルディックウォーキングで健康を応援したりすることならできます。

ちょっとした運動でも人生を健康的に、そして豊かにできると言われています。そのきっかけづくり、元気づくりを大いに楽しんできたいと思います。

美作市地域おこし協力隊 長岡一幸